

暗唱聖句 「従って、今や、キリスト・イエスに結ばれている者は、
罪に定められることはありません。」

ローマ8 : 1

今週の聖句 ローマ8 : 1～17

今週の研究 : ローマ8章は、7章に対するパウロの答えです。パウロは7章で、有罪宣告について語っています。ローマ8章では、有罪宣告がイエス・キリストが与える自由と勝利に変わっています。

神の愛について、驚くべき約束で満ちている8章全体を通して読んでください。

日曜日 : 「キリスト・イエスに結ばれている」という表現は、パウロの手紙に良く見られるものです。人がキリスト・イエスに「結ばれている」とは、彼がキリストを自分の救い主として受け入れていることを意味しています。彼はキリストに絶対的に信頼し、キリストの生き方を自分自身の生き方とします。

「キリスト・イエスに結ばれている」とは「肉の支配下にある」と正反対の状態です。しかしイエスに従うとき、神の前における彼の立場は一変します。それまで律法の違反者として有罪宣告の下にあった者が、今や神の前に完全な存在、一度も罪を犯したことがない者として立ちます。なぜなら、イエス・キリストの義が完全にその人を覆うからです。

月曜日 : 4節にある「歩む」とは、「振る舞い」を意味します。ここにある「肉」とは、罪を自覚する前であれ後であれ、生まれ変わっていない人をさします。肉に従って歩むとは、利己的な欲望に支配されることです。

対照的に、霊に従って歩むとは、律法の義なる要求を満たすことです。聖霊の助けによってのみ、私たちはこの要求を満たす自由があります。キリスト・イエスに結ばれているときにのみ、律法の要求を満たすことができます。キリストを離れては、そのような自由はありません。罪の支配下にあるものは自分の欲する善を行うことができません。(ローマ7 : 15, 18参照)

木曜日 : 私たちが受け入れられているということは、聖霊の内なる証によってわかります。感情だけに頼ることは安全ではありませんが、知っている限りの御言葉の光に従っている人は、自分が神のこど

もとして受け入れられていることを確証する内なる声を聞くはずです。事実、ローマ 8 : 17 には、私たちは相続人であると書かれています。

私たちはそれを自分で獲得するのではありません。それを神から与えられた神の子という身分のゆえに私たちに与えられるのです。この身分は私たちのためにイエスの死のゆえに可能となった神の恵みを通して私たちのものとなりました。

今週の学びはローマ 8 章の前半です。罪深い人間が、イエス・キリストによって神の子として救われることを教えています。

せっかくですから、8 章の後半も読んでください。わたしは 26 節がすきです。「聖霊は弱いわたしたちを助けて」くださいます。わたしたちのために「言葉に表せないうめきをもって執り成してくださる」とあります。聖霊が、わたしたちの良心にさまざまな方法で働きかけて、救いの道を選ぶように導き、その声に従うように必死になって執り成して下さっているのです。ここまで神さまはわたしたちのためにしてくださっているのです。

27 節でも聖霊による執り成しが書かれたことをふまえて、28 節の「神さまは万事を益とされる」という有名な約束につながります。

神さまはわたしたちが選んだ結果をご覧になって、それを用いて最善のことをしてくださいます。たとえまちがった選биをしても、そこへ光を与えて、そこから正しい道へ導かれ、また遠回りをすることによって新たな学びをさせてくださるのです。

それだけでも感謝ですが、その前に聖霊がわたしのために執り成しをしてくださっている。これはまさに神さまがわたしたちの自由意志を尊重しているあかしでしょう。

今週の学びは「キリストにある自由」です。神さまはわたしたちに与えてくださった自由を、キリストに愛されて歩むことを選ぶように、みことばは勧めています。それをあなたが選ぶ時に、永遠への道が開かれるのです。